

新宮・東牟婁圏域 嚙下調整食ハンドブック



東牟婁振興局健康福祉部・串本支所（新宮保健所・串本支所）

みくまの摂食嚙下研究会

新宮・東牟婁圏域嚙下調整食早見表検討会

嚥下調整食ハンドブックについて

高齢者の食事栄養管理においては、誤嚥や窒息、低栄養等を予防するため、高齢者一人ひとりの摂食嚥下機能に合わせた形態での食事の提供がとても重要です。

病院や高齢者施設では、それぞれ独自の基準により、食事の名称や食材の大きさ・調理方法を定めており、他の施設で提供される食形態が把握できていない状況にありました。

そこで、高齢者が病院や施設を転院・転所する際、次の場所でも対象者に適した食形態がスムーズに引き継ぎできるように、各施設で提供している嚥下調整食を、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」（以下、学会分類2013）を基準に分類した「新宮・東牟婁圏域の嚥下調整食早見表」を作成しました。

また、嚥下調整食早見表の他に、高齢者の食事支援に役立つ内容を盛り込み、「嚥下調整食ハンドブック」としましたので、各施設間の連携を深め、新宮・東牟婁圏域の高齢者が、どこにいても安全に食べられる地域となるよう、「嚥下調整食ハンドブック」を積極的にご活用ください。

目 次

	ページ
1. 嚥下障害と嚥下のしくみ	1
2. 嚥下調整食で「誤嚥」を防ぐ	3
3. 嚥下調整食に向く食材・向かない食材	5
4. 学会分類2013（食事・とろみ）早見表	7
5. 学会分類2013と他分類の対応	9
6. とろみのつけ方	10
7. Q&A「学会分類2013」より	11
8. 新宮・東牟婁圏域の嚥下調整食早見表の活用について	13
9. 新宮・東牟婁圏域の嚥下調整食早見表	14
10. 食材の大きさと名称	20
11. 嚥下調整食早見表検討会 構成機関	21
12. 嚥下調整食ハンドブック作成メンバー	22
13. あとがき	23